

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成31年度 第1回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育推進部 社会教育課 (内線 3422)	
開 催 日 時		平成31年4月24日(水) 10時00分～12時00分	
開 催 場 所		キセラ川西プラザ3階 川西公民館 集会室	
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、 玉邑委員、丸山委員 計7名	
	そ の 他		
	事 務 局	石田教育長、若生教育推進部長、中塚こども未来部長、 中西教育推進部副部長、山戸教育推進部副部長、岡本こども未来部副部長、高橋人権推進部参事兼人権推進課長、大屋敷社会教育課長、田中社会教育課主幹、藤井川西公民館長、村山中央図書館長、山中(社会教育課主事) 計12名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 自己紹介 4. 「前回会議録の承認」及び「中間提言の報告」 5. 報 告 事 項 (1) 各協議会等の会議報告について (2) 平成31年度教育推進部の主要事業について (3) 平成31年度こども未来部の主要事業について 6. 議 題 (1) 平成31年度年間研究テーマの確認について (2) 平成31年度審議内容の追加について (3) 各協議会等役員の選出について (4) 生涯学習短期大学レフネックの運営について (5) 会議開催等の日程等について 7. その他 (1) 平成31年度前期公民館講座について (2) 次回の社会教育委員の会の開催について	
会議結果		別紙のとおり	

# 審 議 経 過

NO.1

議長	<p>本日はお忙しいなか、第1回社会教育委員の会にお集まりいただき、ありがとうございます。それでは開会させていただきます。はじめに本日の委員のご出欠です。塩谷委員と黒山委員から欠席の連絡をいただいております。田中委員はこちらに向かっておられるということです。川口委員と丸山委員の方は遅れておられるようですが、時間になりましたので、始めさせていただきます。それでは開会にあたりまして、石田教育長よりご挨拶いただきます。よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>( 挨拶 )</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは本年度の委員ですが2年間委嘱ということになりまして、学校代表の先生方も含め、変更はございません。ただ、本日の会が委員2年目の最初の会となりますので、各委員のみなさんから一言ご挨拶を頂戴したいと思います。それではA副議長から時計回りをお願いします。</p>
A委員	<p>副議長を今年度も務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。昨年は学校教育しか分からない立場でここに座りました。社会教育はどう学校と地域と絡むのかというところを模索しながら、少しずつ分かってきたような気がします。自分がどのように動いて、社会教育に絡み、どう考えていったらいいのかということが、1年かかり、やっと見えたという恥ずかしい状態ですけども、今年兵庫県で全国社会教育研究大会もありますので、それに向けて自分自身に鞭を当てていこうかなと考えています。よろしくお願いいたします。</p>
B委員	<p>私も、自分が関わっている学校支援地域本部事業や、子育て支援について真剣に向き合い、教育について、この1年がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
D委員	<p>社会教育について、なかなか勉強不足でついていけない部分もありますが、できるだけ社会教育といえますか、公民館活動の活性化というところに関していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
G委員	<p>引き続き1年よろしくお願いいたします。私も昨年初めてこの席に座らせていただきました。教育委員会を含め、行政や公民館の経験はしておりますが、個人的に退職して、いま時間はたっぷりあるわけですが、自分自身が公民館活動また地域活動をやっているかというところは一切やっていないです。生涯学習という意味で、個人的な勉強については、努力してはいるのですが、 また、私の弱点というのは現場の現状についての情報がなく、過去の経験から発言しているということです。卒業して2年が経過しておりますが、現場も教育長が申されたように非常に厳しい状況があり、いろいろ変化も激しく、人材もなかなか難しいというような状況をいまもお聞きしておりますが、過去の遺産の発言でなにか取り柄があれば、それはそれでいいのかなと思っております。</p>

審 議 経 過

NO.2

<p>I 委員</p>	<p>す。引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>遅れて申し訳ありませんでした。先ほど教育長がおっしゃった3点、まさに学校現場でも言えることで、本当に試行錯誤しながらやっております。昨年度初めて参加させていただいた社会教育については、特に公民館の役割や、子どもたちとどう繋いでいくかというお話をさせていただきました。またどうぞ、よろしく申し上げます。</p>
<p>C 委員</p>	<p>また今年もよろしく申し上げます。先程教育長がおっしゃったように人材確保が難しいということ在去年は切実に感じました。私は川西市の公立の保育所で勤務しておりますが、シフト以外でも仕事の方にかなり入りまして、充実した1年になったことは確かです。</p> <p>社会教育の方では、全国社会教育研究大会への参加や県内の大会も参加することで、今までと違った視点で社会教育を進めていけることができたかなと思いましたので、今年もがんばりたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。私の方も、昨年度ご縁があり社会教育委員へと就任し、議長を務めさせていただきました。本年度も引き続きよろしく申し上げます。1年間社会教育委員を務め、感じたことは市の教育委員会のみなさんは本当に誠実にお仕事をされているなということです。そうした中で川西市との関わりが増えてきて嬉しく思っております。実は、私が勤めている湊川短期大学がこの前、明峰高校との連携協定を結びました。今年は学校の方でも、川西市の担当になっていまして、幼児教育の学生が6月から川西市の4カ所の園で教育実習をお世話になります。先程の人材不足の話ですが、本学の学生達についても、保育所または学童保育の分野などで、卒業後は地元で就職しがんばってもらえるよう学生を育てていきたいと思っています。</p> <p>また、公民館につきましては昨年1年間で、特に川西市の公民館を勉強させていただきました。まじめに社会教育法を守り、確実に積み上げてきたという、ある意味で他の市とは違う川西モデルをずっと持っておられ、スタンダードではあるのですが、他市を含めた全体で見ると珍しい施策を実施されてきたと思いました。</p> <p>これまで、積み上げとしてきた資産というものがあると思います。それをいかに次の世代に繋げていくか、そして新しい部分をどう取り入れていくかというところは、すごく可能性に満ちていると思います。教育長を始め、公民館にすごく思い入れを持っておられますので、そういったところの付託を受けて市民のために、未来の川西市のためになるような公民館のあり方というものを今年、他の委員のみなさまと一緒に考えていきたいと思っておりますので、また1年間どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。次第の4です。前回会議録の承認並びに中間提言の報告につきまして、事務局の方から報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>( 説 明 )</p>

審 議 経 過

NO.3

<p>議長</p>	<p>はい、それでは今の説明につきましてご質問、ご意見等ございますか。 なければ、前回会議録につきましてはご承認いただいたものいたします。 次に中間提言の報告についてですが、前回の社会教育委員の会で正副議長に一任いただきました。最終的に、まとめたものについて、教育委員会へ提出させていただきます。</p> <p>それでは続きまして5.報告事項に進めさせていただきます。(1)各協議会の報告内容につきましてですけれども、前回から今回の間で委員のみなさまの方でご出席された協議会等ございましたら、ご報告をお願いします。</p> <p>なければ、続いて報告事項(2)(3)について一括して事務局よりご説明いただきたいと思ひます。はじめに教育推進部若生部長から平成31年度教育推進部事業について報告をお願いします。</p>
<p>教育推進部長</p>	<p>( 説 明 )</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。それではこども未来部中塚部長よろしくお願ひします。</p>
<p>こども未来部長</p>	<p>( 説 明 )</p>
<p>議長</p>	<p>本当に課題山積ということですが、丁寧にご説明いただきました。ありがとうございました。本日が平成最後の会議ということで、令和元年が始まるわけですが、令和元年の大きな施策としては消費税増税です。また、消費税増税に伴う子育てに関する幼児教育保育に関する無償化が1つ大きな柱としてあると思ひます。また、学習指導要領が令和2年に、プログラミング教育の完全実施が小学校から始まるということで、令和元年から学校教育と幼児教育の分野で令和元年から2年にかけて、1番大きな教育施策の課題になるのかなということで、本当に課題は山積みという状態です。それでは少し時間がござひますので、委員のみなさんの方から事務局の説明について、ご質問もしくはご要望等ございましたらご意見、ご質問をお願いしたいと思ひます。</p>
<p>B委員</p>	<p>学校教育関係のお話で、部活動については専門コーチが遠隔指導というお話がありましたが、ICT部活動支援というのは、かなり金額もかかるのではないかなと思ひます。もし、多額のお金がかかるのであれば地域のボランティアの方に対する面にお金を回し、直接関わる指導をしていただくことが、大事ではないかなと思ひます。</p> <p>私の息子は、中学に入って剣道を始めましたが、警察を退職された方がずっと指導に来て下さって3年間、基礎からしっかり教えていただきました。先生は授業に関するお仕事も多くあり、部活に入れないことも多いかなと思ひますが、毎日その方に来ていただいて、指導していただいたおかげで、本当によかったと思ひています。結果、息子は大学までずっと剣道を続けていました。そういうこともあり、もちろん専門的な指導というのも大事だと思いますが、遠</p>

## 審 議 経 過

NO. 4

	<p>隔指導していただくことが、どこまで子ども達に伝わるかは分からないのではいかという想いがあります。</p> <p>また、先ほどタブレットのお話でも、隣の子に聞かなくても他の子の考えが変わるというお話がありました。やはり直接話して相手の気持ちを聞くということが、すごく大事だと思います。もちろん保育の面でアラート機能をつけた機器をつけるなどということはすごく大事だと思いますし、どんどん機械を取り入れていかなければいけないということが必要なもの分かります。保育所に関しては、画期的だと思いますが、学校については、生徒と直接関わるということをもっと大事にしてほしいと思いました。</p>
議長	<p>アナログとデジタルの兼ね合いということですよね。事務局、もしご意見等ございましたら、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ICTの部活動支援のお話をいただきました。ICTそれだけに頼るというものではありません。外部コーチも3名各校に配置しますし、部活動指導員というのも新たに動員します。それだけに頼るというものではなく、各学校によって、専門のスポーツの先生がいるというわけではないので、支援という意味で導入するというものです。</p>
教育長	<p>補足で説明させていただきます。3段階ありまして、まず、外部コーチというのが各校3名ずつ、ついております。外部コーチはその立場上、引率等はできませんので顧問が必要です。そのため、責任は重くなりますが、引率もできる部活動指導員を、今回新たに取り入れました。教職員の人数も少なくなっている中で、責任を持つことが必要とされる指導員を各校1名確保しました。それを補う意味でICTを導入しました。ICTの導入費用について、ご指摘をいただいておりますが、こちらについては企業のほうも社会貢献の一環ということで、それほどの費用をかけずに実施ができるものとなっております。むしろ外部コーチの方が、かなりコストはかかっています。ただ、やはり今、申し上げた通り、マナーやルールなどについての指導も必要ですので、人選は難しいところですが、すべての教員に専門性を求めることは難しいなかで教職員だけに頼っていくことは難しいので、申し上げた形で補っていくというのが1つの方法だと思っています。</p>
議長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>小学校のことに関してですが、いろいろとシステム導入されたことから、人材不足が生じているといろいろなところから、電話がかかってくる支援をお願いされています。実際問題、私が知っているところでも、1つの小学校で既に2人足りないと聞いていますが、そのあたりの補助の見通しというようなものは、あるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今、学校にはさまざまな立場で多くの人間が学校にいます。障害児加配、生</p>

	<p>活指導相談員などです。また、国は1年生から6年生までで1年生は35人学級、2年生から6年生については40人学級というルールを定めておりますが、兵庫県は2、3、4年生の授業については35人学級での実施と県より指導が入っています。ですので、今までよりも先生を必要とするというような状況があるのも事実です。</p> <p>ただ、ここ数年は本市で新任採用された先生が2、3年経って但馬、西播磨、東播磨など、もともとのご出身の方に帰りたいというご希望が多く、それを補充するため、新たに人を採用するのですがその方々も、次の年に出ていってしまい障害児加配や生活指導相談員をお願いしていた方に教科学習の方に入っていただくことになり、また人手が足りなくなってきたという状況があります。</p> <p>また、それとは別の問題のところでも私ども川西市の学校に配置いただいた県費の職員にですが、神戸市は正規の職員採用するのと同時に、任期付職員の採用を行っています。つまり、例えば産休、育休などで先生がいらっしゃらなくなれば、すぐ採用を取りますという仕組みをつくり、うまく工夫して人材の確保を行っておられます。兵庫県はそれをしていません。ですので、兵庫県と神戸市のどちらを受けようかと迷う学生の方について、兵庫県よりも神戸市の方が採用確率の高いということで、神戸市の方に流れているという状況があります。その部分については、兵庫県の方に改善をしていただくよう教育長や中学校長会長より要望をあげていくということで、対応をしていきたいと思っています。ということで、今年についても、人材が不足しているという事実があるのは正直なところですが、人材の不足について、1番誰が困るのかというと、当然子ども達が1番困るわけですが、そのような状況というものは早く打破したいと思っており、現在、試行錯誤しているというのが正直なところですが。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他の委員の方はご意見等よろしいですか。それでは、時間の関係の方もございますので、進行を次へ進めさせていただきます。それでは6.議題の(1)平成31年度年間研究テーマについてです。昨年度は公民館の役割について～今、何が求められているのか～をテーマに議論し、中間提言をまとめ教育委員会に提出しました。委員は2年任期ということで、前年度の報告については、中間提言というかたちで提出しましたので、本年度も引き続きこのテーマで審議を進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
議長	<p style="text-align: center;">( 各委員承認 )</p> <p>はい、ありがとうございます。それでは2年目も中間提言を積み上げる形で審議を進めさせていただきます。年度末には教育委員会に最終提言という形で報告をさせていただきたいと思っています。</p> <p>では続きまして(2)平成31年度審議内容の追加について事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>

審 議 経 過

NO.6

事務局	( 説 明 )
議長	<p>また詳しくは(4)のところでご説明をいただくのですが、社会教育の条例設置の委員会で審議するということでのご提案だと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>( 各委員承認 )</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。それでは審議のボリュームは増える形になりますが、委員のみなさま方にご協力いただきまして、生涯学習短期大学レフネックの運営につきましても、今年度以降社会教育委員の会での議題とさせていただきます。よろしくお願いたします。それでは次第の(3)です。各協議会の役員の選出について資料1をご覧ください。</p>
事務局	<p>( 説 明 )</p> <p>( 協 議 )</p>
事務局	<p>( 就任の結果、以下のとおり委員が確定 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育協議会 理事 : 玉邑委員</li> <li>・青少年センター運営委員会 委員 : 米田委員</li> <li>・図書館協議会 委員 : 田中委員、細見委員</li> </ul>
議長	<p>では、就任された委員のみなさん、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事に進めさせていただきます。(4)生涯学習短期大学レフネックの運営につきまして事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	( 説 明 )
議長	<p>ありがとうございました。レフネックのことについてご説明をいただきました。D委員はレフネックを以前からご存知と伺っていますが、ご質問等いかがですか。</p>
D委員	<p>幅広く勉強をされていらっしゃることは前から知っています。私も昔ですが少し関わらせていただくことができました。非常に高度な勉強を、専門的に勉強をされていると認識しています。良い勉強だと思っています。多くの方が受講されたいと思います。定員が割れているところもあるようなので、もう少し参加していただいたらよいなと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは次年度の計画に入られておられるようですので、ご要望もしくはご意見等ございましたら、事務局のほうにお寄せいた</p>

審 議 経 過

NO.7

	<p>だけたらと思います。それでは次第を進めさせていただきます。(5)会議等の日程について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>( 説 明 )</p>
議長	<p>本年度は本市が阪神北地区の会長市に当たっており、また全国社会教育研究大会があるということで多く会議がございますけども、皆様方のご協力をもって進めたいと思います。どうぞ、日程調整をよろしくお願いいたします。 それでは予定されていましたが議題については以上とさせていただきます。次第7 その他です。7.その他の(1)平成31年度公民館講座につきまして事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>( 説 明 )</p>
議長	<p>ありがとうございました。盛りだくさんの企画をされております。ご質問等ございますか。</p>
I委員	<p>こども茶道教室を小・中学生対象で開催されているようですが、応募状況はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>他館の状況は分かりませんが、川西公民館に関しては、定員を超えて応募があり、今はキャンセル待ちが出ている状況です。他館の現在の応募状況はまとめているところなので詳細はお答えできませんが、土曜日は参加者がいますが、平日の3時半に始める分について、人数が少なめと確認しています。</p>
I委員	<p>なにかチラシなどを見られて、保護者と一緒に申し込んでいるということですか。</p>
事務局	<p>川西公民館は、周りの小学校3校の学生に1人1枚ずつチラシをお渡ししています。だいたい申し込んでいただくのはお母様が多いです。10人定員ですが、15、6人ほど申し込みをしていただいています。</p>
I委員	<p>本校は一切そういうチラシを見たことがありませんし、そのような事業があることを私も知らないという状況です。</p>
事務局	<p>明峰公民館が周知していないのだと思います。またこちらから伝えておきます。</p>
議長	<p>茶道は人気がありますね。本学は「ちゃどう」と言っていますが学生は全員必修でやっています。幼児教育ということでは、子育てセンターのほうで親子さん向けの事業ということで、結構たくさん集まっています。ほか、ご意見よろしいでしょうか。</p>



# 審 議 経 過

NO. 8

議長	はい、それでは進めさせていただきます。(2)次回の社会教育委員の開催について事務局お願いします。
事務局	( 説 明 )
議長	次回の社会教育委員の会は5月22日です。委員のみなさまは日程調整をよろしく願います。それでは、みなさまのご協力のもと、予定されていた議事を全て終えることができました。以上で第1回の社会教育委員の会を終了させていただきます。ありがとうございました。